

Pick Up! New Product

歯科充填用コンポジットレジン（光硬化型）

オムニクロマフロー

田代浩史

田代歯科医院
〒430-0929
静岡県浜松市中区中央2-10-1



日常臨床で適応範囲が広がるコンポジットレジン直接修復における、臨床的な問題点は徐々に解決されつつある。かつては接着材の不安定な歯質接着性能や、コンポジットレジンの不十分な耐摩耗性など、過酷な口腔内環境での長期間の使用には術者として不安を感じる場面もあった。しかし、コンポジットレジン修復用の接着材料は歯質への高い接着力を獲得し、さらにチェアタイムの短縮が可能な単純化されたシステムへと改良が進んでいる。また、充填用のコンポジットレジンも従来のペーストタイプに加えてフロアブルタイプが登場し、耐摩耗性を含めた機械的強度も向上して臼歯部修復への適応も可能となった。

一方で、審美性が求められる臨床場面での直接法コンポジットレジン修復の機会が増加し、術者にとって残存歯質との色調適合という難しい課題もクローズアップされている。充填部位の歯冠部色調は患者によってさまざまであり、特にテトラサイクリン変色歯やホワイトニング後の歯冠部色調への充填に際し、コンポジットレジンのシェード選択はきわめて難易度が高いと感じる。

このたび、トクヤマデンタルから発売された「オム

ニクロマフロー」は通常の色調の窩洞への充填はもちろんのこと、こうしたシェード選択が困難な歯冠部色調の窩洞への充填により、周辺の歯質の色調を反映して発色する特殊な発色メカニズムを採用している。歯科で使用される通常のシェードガイドにおけるA1～D4まで、すべての歯の色調は赤色から黄色の比較的狭い範囲に分布しており、オムニクロマのフィラーは歯の色調である赤色から黄色の構造色が出るよう、粒径260nmに制御されている。この粒子形状とサイズが精密にコントロールされたオムニクロマのフィラーが微細構造を形成することで構造発色し、さらに窩洞内の歯質の色調も反映することで、1本のコンポジットレジンにより複数のシェードに対応可能となる。

画期的なテクノロジーにより、コンポジットレジン修復での色調適合という難しい課題を、シンプルに解決してくれる「オムニクロマフロー」、今後の臨床経過が楽しみである。



術前。破折歯へのⅣ級修復を計画。
「オムニクロマフローブロッカー」により口蓋側面を構築。
「オムニクロマフロー」により隣接面部分の再構築を完了。
術後。歯冠色の適合を確認後、「エステライトカラー(White)」を併用。

- 問い合わせ先：
株式会社トクヤマデンタル
東京都台東区台東1-38-9
0120-54-1182（フリーダイヤル）
- 標準医院価格
4,800円（1本/税別）
内容量：3g（1.8mL）

シェードという概念がない新しいコンセプトのコンポジットレジン「オムニクロマ」に、フロータイプのコンポジットレジンが新しくラインナップ。「オムニクロマフロー」

が歯質に同化し、自然な色調になる。

小さい窩洞であればこの1本でVITA16シェードに対応する。かつ在庫管理もシンプルになる。